



http://www.edu.pref.kagoshima.jp/ss/nakatane-h/top.html

Eメール nakatane-h-ss@edu.pref.kagoshima.jp

令和4年3月18日発行

夢や憧れを目標に

校長 河野正寿

本年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた1年でした。学習活動や行事等の変更や制限を余儀なくされることも多く困難な状況の中、保護者や関係する方々の多大な御理解や御協力をいただきながら、教育活動に精一杯取り組むことができました。皆様に感謝申し上げます。

さて、前回の冬季オリンピックで銅、今回北京で銀メダルを獲得したカーリング女子の日本代表。決勝戦で敗れた後、選手は「日本カーリング界にとって五輪で金メダルを取ることが夢ではなくなった。起こりえる目標になった。」と話しました。今でこそ注目される競技ですが、日本での黎明期から資金調達や選手育成など地道な積み重ねが競技力を向上させ、関心を高め、五輪の金メダルを夢や憧れではなく明確に「目標になった」と言えるまでに成長に導いたと思います。本校では、児童生徒の夢を大切にしようという取組があります。夢や憧れは、子供たちを笑顔にします。夢を目標にできるよう教育活動に取り組み、子供たちを支えている地域とつながる学校でありたいと思います。

本校では、昨年夏から校舎改築工事が始まり、これまでプールと食堂が解体されました。来年度は新体育館の建築に着手し、その後も数年間工事が続きます。工事が教育活動に大きな影響がないよう十分配慮していきます。大きく変わり、ますます充実・発展する中種子養護学校を、これからも見守ってくださるよう、お願いします。

【屋久島支援教室】

1月14日に熊毛地区高校総合文化祭が、屋久島で開催されました。中種子養護学校を代表して屋久島支援教室の生徒たちもステージ発表(英会話での自己紹介、合唱)を行い、練習してきた成果を十分に発揮することができました。特に合唱では他校生の協力をいただき、「さくら草」を三部合唱で披露しました。みんなの

歌声がホール内に響き渡り、素晴らしいハーモニーを奏でられたことに感動と充実感を味わうことができました。また各高校と交流・親睦を図る良い機会となりました。



【小学部】「わらべ歌でなかよう公開授業」

わらべ歌は、日本各地に伝わる遊びです。わらべ歌は日本の伝統的な音構造とリズム感で構成されており、人と関わりながら音色やリズムを感じることでできる題材です。

なかよう公開授業では、「もちつけ」の歌を教材に取り組みました。子供たちは、小豆の音や歌に合わせて手のひらを突く動作や教師をまねて頭にお手玉を載せる動作も見られ、歌の音色やリズムを感じて手や体の動きで表現することができました。タブレット端末でメトロノームを操作するなどICT機器の活用も進めています。



【中学部】「生活単元学習」

「選挙について知ろう」という単元で、投票体験を通して、自分の意思を決定したり、伝えたりする学習を行いました。実際の選挙で使われる、記載台や投票箱を役場から借り、投票所の雰囲気や緊張感を味わうことができました。また、学校での生徒会役員選挙に対しても、自分たちの代表を自分たちで決めるんだという意欲につながる学習となりました。



【高等部】「校内販売会」

3月2日(水)に高等部校内販売会を実施しました。「販売の仕事を知る」「適切な販売方法を体験する」「働く喜びを感じる」ことを目標に、質の良い製品作りや販売の準備、練習などに取り組みました。当日は、生徒たちが、「会計」「包装」「売上げチェック」「接客」の係を分担し、「笑顔」「丁寧な言葉遣い」「積極的な接客」などを意識しながら、練習の成果を発揮し、販売会を成功させることができました。「自分たちの製品が売れてうれしかった」「自分からお客さんに声をかけることができた」など、生徒たちはいろいろな感想をもったようです。



【令和3年度 なかようの職員の誓いから】

ゆとりある 「お先にどうぞ 大切に」

交通法規遵守

○4月に「春の全国交通安全運動」があります。早めの行動でお互いに安全運転を心がけましょう。

【地域支援係】

地域における特別支援教育のセンター的機能の一つとして7月に「なかよう夏季セミナー」を実施しました。今年度は、県こども療育センターの特別支援教育支援者連携研修事業活用し、作業療法士、精神科医師の2人の講師から、「感覚と運動」「愛着の問題とその理解」について講演していただきました。種子島、屋久島地区の特別支援教育に携わる、関係者84人の参加がありました。つまずきのある子供への多面的な見方や、アプローチの方策などについて研修を深める機会となりました。

また本年度熊毛地区の保育所、幼稚園、こども園、小・中・高等学校に出向き、巡回相談も計画どおり実施しました。

【研修係】

今年度からテーマ研修は、「一人一台端末を活用し、学びを深める中養の授業作り」というテーマで3年間研修を進めていきます。今年度は、「アナログとデジタルの融合の第一歩」を副題として、配布された一人一台端末をまずは使ってみようという研修を深めてきました。その結果、授業で効果的に使えるようになってきました。

また、コロナ禍の中、外部講師の出前授業や種子島中央高校との交流学习などリモートで実施することができました。来年度以降、さらに研修を深めていきます。



【芸術鑑賞教室】

2月9日(水)に芸術鑑賞教室を開催しました。「種子島ウィンドアンサンブル」3人に来ていただき、子供たちが大好きな童謡やアニメの曲などを演奏していただきました。途中からは本校職員も一緒に演奏し、子供たちは手拍子等で盛り上げました。

今年度は感染症対策のために、小学部・中高等部を途中で入れ替えての実施となりましたが、短時間でも生の演奏に触れる経験は、心を豊かに休日や卒業後の余暇について考える良い機会になりました。



鹿児島県立中種子養護学校

〒891-3604 鹿児島県熊毛郡中種子町野間 6584-4

TEL: 0997-27-2818 FAX: 0997-27-0167

